



# OB 会だより

国臨協 OB 会関東信越支部

平成 29 年 1 月 1 日  
 発行責任者：岩村義昭  
 編集責任者：三浦隆雄  
 国臨協 OB 会事務局  
 千葉県市川市東国分 2-1-26  
 TEL：047-372-0713

## 謹賀新年

## 2017

写真：宮野勝秋

## 新年のご挨拶

会長 岩村 義昭

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、健やかに新年をむかえられた事とお慶び申し上げます。昨年を振り返りますと、自然災害が多く発生、熊本地震や台風 10 号での損害は甚大でした。近年の台風は地球温暖化の影響か、大型で猛烈なものになってきている。災害列島に住むものとしては防災意識の強化や、復興支援の継続が大切であると思います。

大きなイベントとして、リオのオリンピック・パラリンピックが挙げられます。水泳・体操・柔道など各種目での活躍が記憶に新しい。体操の団体での優勝、内村の美しい体操、白井の床での超人的な技。競泳の萩野の力泳などなど。また陸上の 400 メートルリレーでは、見事なバトンパスで銀メダル。(ボルトが抜けていれば、ジャマイカに勝って金メダルだった?) 今思い出してまた感動がよみがえります。

今年のノーベル医学・生理学賞に大隅良典栄誉教授が「オートファジー」と呼ばれる仕組み

の解明で受賞した。毎年のように日本人受賞者が出るのは本当にうれしく誇らしい。

過激な発言をしてきたトランプ氏が、大方の予想を裏切り次期アメリカ大統領に選出されこの 20 日に就任する。保護政策をとるとか、国境に塀を造るとか、種々言われている。TPP は何やら怪しくなりそうで、温暖化対策は気がかりである。また我が国の周辺事情も色々変化が有りそうで、安倍総理にはしっかりと舵取りをお願いしたいところです。

OB 会としては昨年会員名簿をお届けしました。会員相互の親睦を図るために活用ください。また、関信支部との連携をさらに強め、今回より会報に支部からの記事を掲載しました。総会・懇親会は例年通り 6 月 3 日の第 1 土曜日に開催します。また作品展も行いますので多数のご参加をお願いいたします。

今年は酉年。会員の皆さんが元気よく羽ばたき、楽しく実り多い年になりますよう、お祈りいたします。

## 瀬戸物から陶芸まで

秦 政 行

陶芸教室の陶芸作家の先生のご好意により愛知県瀬戸市内に広がる広大な採土場がある窯業地を見学することができました。陶磁器の代名詞「セトモノ」になっている窯業地である。

日本の初めての施釉陶器を手掛けた産地として知られるこの地を旅することができましたのでこの地で知り得た瀬戸物から陶芸までをご紹介しますと思います。

戦国時代に多くの陶工たちが隣国の美濃に逃れ、そこで全盛期の茶陶である志野・黄瀬戸・織部などの「桃山陶」を生み出したと言われている。さらに江戸時代末期の19世紀初めに有田から磁器の生産技術がもたらされ、明治時代には染付磁器により国内外で高い評価を得てきた。

瀬戸の磁祖・加藤民吉を祀った窯神社の裏手から見下ろすと、「瀬戸グランドキャニオン」等と呼ばれる広大な採土場が眼下に広がっている。そこは、ガラスの原料となる珪砂や陶芸用のガイロ目粘土や木節粘土の層で、何百年も露天掘りで採取し続けているが、所々すでに採り尽くして、埋め戻している箇所もあるという。

現在は、敷地内に勝手に立ち入ることはできなく撮影することも許されていないが、この採土場を見渡すと、なるほど瀬戸が日本一とも言える窯業地になったのもうなずける。

瀬戸の街は、数十年前までは尾張瀬戸駅前を流れている瀬戸川の両岸に陶磁器の卸問屋が立ち並んでいたが、今では老舗の「丸一国府商店」の矢倉のような木造建ての店構えが目に着く程度である。

こうした瀬戸の陶磁器の衰退は、やはり時代の風潮によるのだろうか。ありふれた普段使いの「瀬戸物」食器は、多様化した現代生活や核家族化した家庭環境での需要はもはや望めない。

しかし、瀬戸には伝統陶芸ではなく、現代陶芸の造形作品を制作する作家もまだまだ第一線で活躍している。

瀬戸の陶芸は焼き締めの備前焼や茶陶の萩焼のように誰しもが思い浮かべるこれといった特徴はない。ただし、陶器の発祥からの長い歴史を持ち、さらに磁器の200年の歴史があるという陶磁器現代の瀬戸を中心

とした東海地方で活躍する新鋭作家は技術や物流の発達により、窯業地にこだわらなくても制作活動ができるようになった現代においても、まだ瀬戸を拠点として数多くの作家たちが活動している。また、瀬戸周辺には愛知県立芸術大学や愛知教育大学の陶芸科など、近年活躍がめざましい若手作家を輩出している大学もある。

ここでは、瀬戸で修行したり、瀬戸を制作拠点としている陶芸家、また、周辺の東海地方で制作する陶芸家達が国際的な規模の公募展まで発展していけば申し分ない。

21世紀になって次々と開催されるようになったのも、かつての窯業地を現代の「陶芸」センターとしてよみがえらせようというプロジェクトであった。

一千年もの間、途絶える事無く現代まで継続している日本の陶芸は彼らのあこがれでもあったのである。

今回は備前焼についてお話いたします。





## 節目

高橋 康之

新年明けましておめでとうございます。

皆様方におかれましては、健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

“節目”をググってみますと、「木材や竹の節のある所。また、比喩的に物事の区切りとなる大事な所。」と出てきます。「人生の節目・節目の年」などという使い方をします。

私たちの一般的な人生の歩みの中で経験する節目とは、入学・卒業・就業・転勤・転職・結婚・出産等々、また悲しいことですが離別や死別などがあるでしょうか。これらの節目では、少なからず新しい環境に移ることを経験するために、必ず適応・不適応の問題がともないます。昨今、適応できずに「引きこもり」なんていうケースも多々見受けられます。幸い私自身は、多くの方のご支援をいただき、今までの節目を何とか乗り越えて来ましたが、転勤にともなうストレスもなかなか大変でした。

私も、昨年から還暦という節目の年、定年退職という人生の節目を経験しましたので 60 年間の自戒を兼ねて少し書かせていただきます。

まず、還暦の別名は「本卦（ほんげ）還り」というそうです。十干十二支が 60 年で一周して生まれた年の干支に戻る。このことからもう一度「赤ん坊」に還るという意味合いもあり、赤いチャンchanコを着て、改めて長寿と健康を願い、お祝いをする風習のことをいうそうです。60 年間も俗世の埃に曝され、また幾つも持病をかかえた者としては、純粹無垢な赤ちゃん還りは不可能ですが、せめて人生の節目で一旦立ち止り、自分の来し方を振り返り、またこれからの時間に思いを巡らすのも大事なことと思います。

還暦・定年退職を大きな節目とするなら、次の節目は彼の世への旅立ちでは、あまりにも寂しいことですので、頭と体の機能低下と上手に付き合いつつ、仕事も趣味もエンジョイし、一つでも多くの節目を越えて行きたいと考えています。

幸いにも検査技師としてフルタイムの仕事も得、かみさんの協力もありますので、新たな人生、新たな仕事のスタートを切ったところです。老害などと揶揄されぬように真摯に仕事に励みたいと思います。

OB会の諸先輩の皆様、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

## 定年退職して

和田 弘夫

今回入会させて頂いた和田弘夫と申します。

どうぞよろしくお願いいたします。

在職中、30代40代の頃には定年退職したら、「あれをやってみようこれに挑戦してみよう」と色々考えていましたが、何時しか身分も国家公務員でなくなり組織も独立行政法人と変わる中、退職間近になると様々な業務に追われる日々が続き、気が付いたら定年退職の日を迎えていました。

現在、成育医療研究センターで非常勤職員として働いています。来年からは今までとは違う仕事等に挑戦して見ようかと考えています。1年あるのでこの間に色々考えて行けばいいかと思っておりましたが、残すところ3ヶ月となってしまい、年越したら本腰をいれ再就職活動したいと考えています。

あのころに思っていた、「あれをやってみようこれに挑戦してみよう」はなんだったのか思いだしながら、ボケ老人にならないよう色々な事に挑戦していきたいと思っています。

今後、この会に入会し、先輩の方々にお会いし、色々なお話聞けるのを楽しみにしています、どうぞよろしくお願いいたします。



## NHO 高崎総合医療センターの今

峰岸 正明

あけましておめでとうございます。

今年、平成 16 年 4 月に国立病院が独立行政法人化されて 13 年目を迎えることとなります。この間に関信支部内の施設で病院の新築、改築（病棟のみ新築・改築も含める）が行われた施設は、正確に調べたわけではありませんが 27 施設となっているようです。そこで新しくなった現在の国立医療施設の検査科を紹介したらどうかというお話を岩村会長よりいただき、OB 会だよりに掲載することになりました。第 1 回目は、峰岸が関信支部の支部長をしていることもあり高崎総合医療センターを紹介いたします。

NHO 高崎総合医療センターは、明治 6 年に東京鎮台第一分営高崎當所病院として創設され、平成 29 年で 144 年の歴史を誇る病院です。その永い歴史の中で経営母体の移管とともに名称が高崎衛戍病院、高崎陸軍病院、国立高崎病院、国立病院機構高崎病院と移り変わり、診療内容も変わりました。そして、現在の高崎総合医療センターという病院名は、平成 21 年 10 月に新病院の開院とともに新病院名へと名称変更されました。病院の建て替えについては、旧国立高崎病院、高崎市、高崎市医師会により推進協議会が設置され所有方法や管理方法が決定されました。平成 28 年 4 月 1 日現在における当院の規模は、病床数が 451 床、28 診療科、常勤職員数が 746 名で運営されています。主な機能としては「地域医療支援病院」「救命救急センター」「地域がん診療連携拠点病院」「地域災害拠点病院」などに指定されており、DPC II 群となっています。さらに平成 30 年 10 月に 5 階建ての新館が増設されることが予定されており、新館には 2 個病棟（増床数としては 34 床）、手術室、医局等が入ることになっています。平成 22 年と 26 年度の病院統計を比較すると 1 日平均外来患者数は 714.6 人から



784.2 人、一日平均入院患者数は 300.4 人から 381.6 人、平均在院日数は 14.5 日から 11.8 日と患者数は増え、在院日数は短くなり安定した病院経営ができています。

臨床検査科の医師を除いた職員数は、平成 22 年のときは 19 名（非常勤 3 名含む）だったのが、平成 28 年では 33 名（非常勤 10 名含む）と増員となり、各部署の配置は検体検査に 9.5 名、細菌検査に 3.5 名、病理検査に 6 名、生理検査に 10 名、そして技師長、副技師長、検査助手 2 名で業務に就いています。当院は平成 19 年 5 月より 2 交代制をとっていますが、2 交代制を開始した当時は、少ない人数であったことから多忙を極めたようです。増員になった現在においても業務量が増え、内容も濃くなるなど当時の忙しさほどではないにしろ当直者には負担をかけています。（若ければ良いですが、年齢を重ねたスタッフは大変です。）

検査システムは、病院の建て替えに併せて電子カルテとして MegaOak（NEC 社）が導入され平成 27 年 12 月まで使用されましたが、平成 28 年 1 月に Newtons2（SSI 社）の電子カルテに更新されました。部門システムは検体検査が CLINILAN（A&T）を継続して使用しています。検体検査以外では輸血

検査がオーソ、細菌検査が BD, 生理検査では心電図関係がフクダ電子, US レポートがインフォコム, 画像保存が GE, 病理検査はインテックを導入しています. 分析装置については, 旧病院から使い続けている装置がまだ残っていますが, 新病院になってから生化学免疫装置 (東芝, アボット), PCR 測定装置 (ロッシュ), 心電計 (フクダ電子), 輸血検査システム (オーソ), 超音波診断装置 (東芝, GE), 液状化検体細胞診装置 (ホロジック) が更新され, そして今年度は血液・凝固検査装置 (シスメックス), 病理染色装置 (サクラファインテック, ロッシェ) などが整備されています. 分析装置や職員が増えたことで, 物や人があふれ検査室のスペースがかなり狭くなってしまいました.

そこに重ねて臨床検査の実習生を麻布大学, 杏林大学, 群馬パース大学, 西武学園医学技術専門学校, 帝京大学, 東武医学技術専門学校から受けており, 多いときで実習生が10名となった時期もありました.

\*\*\*\*\*

最後に C 類点数を病院建て替え当時と比較しますと 62,062,015 点から 81,537,477 点と大きく増えて, 臨床検査科が病院経営, 診療支援に大きく貢献できています. こうして検査業務に日々取り組めるのも OB 会の先生方のご指導のおかげと感謝しております. 医療を取り巻く環境は様々な影響を受け変化が速く進んでいます. そして臨床検査の技術も日々進歩しますので, OB 会の先生方のお知恵をお借りしご指導いただけますようお願いいたします. 拙文となってしまいましたが, 今の NHO 高崎総合医療センターの状況をお分かりいただけましたでしょうか. 群馬県は草津温泉をはじめ沢山の観光名所がありますので, 群馬の観光名所に行かれた際には少し足を延ばして当院に, ぜひお立ち寄りください. お待ちしています.

\*\*\*\*\*

**投稿写真**



## アポロ計画成功の裏話 II

藤川 淳策

### アポロ計画のスタート

1961年5月25日、ケネディー大統領は「1960年の終わりまでに、人間を月に送る。」と宣言した。こうして総額20兆円（当時）、総勢20万人もが関わるアポロ計画がスタートしたのである。もちろん、当時のアメリカの宇宙開発を担っていたフォン・ブラウンを中心とした元ドイツ人達（以下V2チームと表現する）が要であるのは言うまでもない。

この計画でV2チームがいかに要となったかは以下に例を示そう。すなわち、ロケットの設計開発の中心であるマーシャル宇宙飛行センター所長にウェルナー・フォン・ブラウン。同副所長にエーベルハルト・リース。科学技術局長にヘルマン・ウェイドナー。計測器具部長にフリードリッヒ・デュール。計画管理部長フリードショフ・シュペール。アポロ司令船機械主任ケネス・クラインクネヒト。燃料部門主任エルンスト・シュトリンガー。そしてロケット打ち上げのプロであるケネディー宇宙センター所長にクルト・デュブス。同発射操作部長ハンス・グリューネ。月着陸船の開発を担当した有人宇宙飛行センター所長のローベルト・ギルルース。などなどである。

ロケットの製造と深い関係のある民間会社でもV2チームが要職を占めている。ベル・エアロシステム会社副社長のワルター・ドルンベルガー。ゼネラル・ダイナミック社のクラフト・エリッケ。ノース・アメリカン・ロックウェル社のウェルナー・ゲンガーバッハ。など……。

### サターンロケットの開発

V2チームの強力メンバーはアポロ計画の各部門の中心となったが、時間的猶予は8年である。人間を月に送り無事に帰すという、前代未聞の壮大な巨大プロジェクトであり決して長い時間ではない。

フォン・ブラウン率いるV2チームは多くの試行錯誤や実験を繰り返しながら、完成したのがサターン5型ロケット。全長110メートル、最大



直径10メートルで、重量約3,000トンの史上最大最強のロケットである。ただ巨大だけではない。一万キロ離れた“ノミのきんたま”にも命中するという精度を有するそうだ。重さ45トンの宇宙船を軌道に乗せるには強力なロケットが必要だったのである。

この開発過程ではドイツ時代の史上初の弾道ミサイルである、V2の実験経験が生かされた。V2は真空管と2万個の部品からなる。しかし、サターン5型は集積回路と900万個の部品で構成される。V2発射実験の教訓から、ネジ1本まで不良品や緩みがないかチェックされたという

サターン5型の1段目は巨大なF1エンジンを5基備え、中央の1基は固定されている。周りの4基のエンジンを微妙に動かしてロケットの姿勢を制御する。1段目の燃料はケロシン（灯油）と液体酸素を燃焼して、3,500トンの推力を得る。ロケット打ち上げ時にケロシンの燃えるオレンジ色を出す。2段目と3段目は液体水素と液体酸素である。ちなみに、エチル・アルコールと液体酸素を燃料としたV2ミサイルは打ち上げ時に青白い炎を出して上昇した。

3人の宇宙飛行士の乗った総重量45トンの宇宙船を地球を回る軌道に乗せるためには秒速7,9キロまで加速する必要がある。この秒速7,9キロに宇宙船を加速することにより、地球の引力と拮抗する。たとえば、ライフル銃により発射された弾丸はおよそ秒速1キロ程度で、空気抵抗と地球の引力により3キロ先で失速落下する。

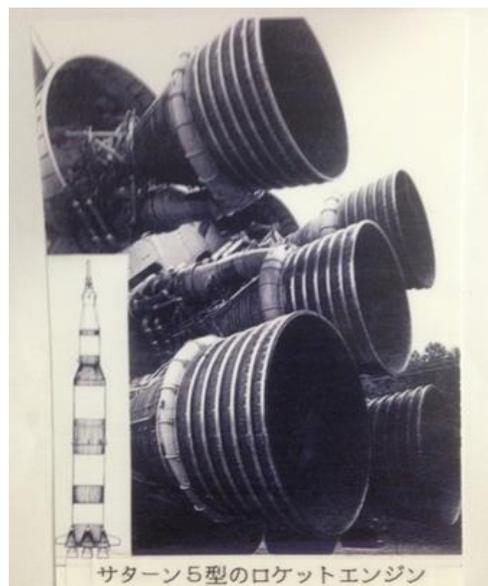
もし、ライフルの弾丸が秒速7, 9キロの速度で発射され、この速度が維持されれば85分後には地球を1周して、発射した人物の背中に命中することになる。地球の引力を脱出して月への軌道に乗るにはさらに秒速11キロまで加速しなければならない。

この頃、日本のNHKをはじめ各種の学会ではフォン・ブラウン博士の講演会を開くため来日を要請した。しかしながら、これが実現することはなかった。理由は“第一級の頭脳保持者”ということで、万が一の暗殺を恐れたアメリカ政府が出国を許可しなかったためと言われている。当時はアメリカとソ連の冷戦時代であり、宇宙開発競争の真っただ中でもあった。

暗殺といえば物騒な話しであるが、アメリカは第二次大戦中に敵国であるドイツにヒットマン（暗殺者）を送ったとされている。ドイツからアメリカに亡命してきた多くの科学者達の証言から、ドイツが連合国より先に核兵器を完成する可能性を信じた。これによりアメリカは周知の通りマンハッタン計画により、核爆弾の完成を急いだ。一方、ヒットマンのターゲットはノーベル賞受賞者で核物理学の第一人者であるウェルナー・ハイゼンベルグ博士。実際このヒットマンは銃の引き金を引けば博士を斃せる距離まで近づいたことがあるそうである。しかし、博士の人柄にとっても引き金を引く気になれなかったと回想している。この判断は正解である。当時のドイツは戦車や飛行機などの通常兵器の生産で手いっぱい、核爆弾を製造する余力はなかった。

もしかして、重水素型の核兵器の製造は検討されていたのかもしれない。それはノルウェーの水力発電所で密かに重水素の製造をしていたからである。だが、この製造された重水素はノルウェーの港からドイツに船で運ばれる直前に、レジスタンスにより爆破され船が沈没し。重水素はドイツ本国に届くことはなかった。

話が横道にそれてしまったが、NHKの主権によるフォン・ブラウンの来日講演が実現したのはアポロ計画が成功した後の1971年3月のことである。



## 城山技師長の思い出

元国立王子病院：大野 清

城山萬喜治・元国立王子病院臨床検査技師長に於かれましては、平成28年11月10日、享年94歳にて永眠されました。先生は私が昭和49年に王子病院に就職した時の技師長で、恩師であり公私に渡りご指導を賜りました。

当時の先生は50代半ばで仕事や研究活動に積極的に打ち込み、「福見賞」も受賞されて、いつもその姿勢に刺激されていました。

飲み会などではマジックを披露して、宴会を盛り上げていました。私は現在、介護施設で働いていますが、仕事の合間にマジックを利用者に披露して、喜んで頂いています。これも、先生が仕事以外にも楽しみをもつことは、人生に潤いをもち生き甲斐の一つになることを、自ら教えて下さったと思います。

棺には誕生会の色紙、第1回臨床検査技師免許証、陸軍衛生兵証、王子病院の思い出のアルバム、好きだった釣り竿なども納棺されました。

ご遺族から3月の誕生日を元気に迎えたことや、5年前の奥様、3歳で亡くなった息子に導かれ天国へ旅たったと、お礼の挨拶がありました。

先生の遺影から「まだまだ頑張れ」と後押しをして頂いているようで、与えられた環境で悔いのない人生を送り、先生のお年まで元気で長生きすることが恩返しと思っています。ありがとうございました。

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



当時の検査科職員



## 訃報

大舘光子さん 享年79歳  
(元 がんセンター東病院)  
平成28年7月26日逝去されました。

多田彊平さん 享年74歳  
(元 国立千葉病院)  
平成28年8月22日逝去されました。

鈴木武雄さん 享年94歳  
(元 国立横須賀病院)  
平成28年11月1日逝去されました。

城山万喜治さん 享年94歳  
(元 国立王子病院)  
平成28年11月10日逝去されました。



謹んで ご冥福をお祈りいたします。

## 編集後記

OB会だよりは、年3回(1月、5月、9月)発行しています。投稿をお待ちしております。

また、6月の総会・懇親会にも多数のご参加をお願いいたします。

本年もよい一年となりますよう、健康ファーストで、皆々様のご幸運をお祈り申し上げます。

(記 三浦隆雄)